

## 口は健康のもと Vol.89

### 入れ歯安定剤、問題も 医師に相談し正しく使って

入れ歯を使っている皆さんの中には、コマーシャルで目にする「ポOデント」や「ポOグOップ」などに代表される入れ歯安定剤を使用している方がいるのではないのでしょうか。

歯科医院で何度も調整したのに、食事中や会話中にはずれるから、使っているのだと思います。確かに入れ歯安定剤はそれなりの役割を果たしてくれますが、口の中の粘膜にとっては決して良い材料ではありません。

食事後の汚れが付きやすく、粘膜が赤く腫れたり、カンジダなどのカビが発生することもあります。また入れ歯安定剤にはある程度の硬さをもたせているので、入れ歯を口の中に咬んでおさめると、咬み合わせが狂ってしまうことがあります。悪い咬み合わせのまま食事をすると、顎の筋肉とか関節を痛めてしまいます。

入れ歯安定剤を使いたい方は、自分だけの判断ではなく、歯科医院に相談し、正しい使い方を覚えてください。

人の顎の骨は年をとると縮んでいき、入れ歯が合わなくなります。合わない入れ歯を無理して使っていると顎の骨や粘膜を痛めてしまいます。毎年1回は入れ歯の状態を歯科医院で検査してください。いつもピッタリ合った入れ歯で快適な人生を歩んでいただきたいと願っています。



奥羽大学歯学部附属病院  
総合歯科 講師 小林 康二

